

一般社団法人栃木県バスケットボール協会  
平成 29 年度 第 3 回理事会 議事録

日時：平成 29 年 9 月 19 日（火） 18：30～

会場：文星芸術大学附属高校研修室

出席：〔理事〕 21 名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美  
福田悦男、直井秀之、新村雅司、塚原弘江、中村剛久、石渡光平、杉森豪  
前原延之、別井明彦、小林史雄、佐々木清美、古谷常夫、横澤隆一、山田将樹

〔監事〕 0 名

欠席：〔理事〕 6 名 福田憲司、佐藤智信、日向野信行、渡辺諭、北条和寿、矢野まなみ

〔監事〕 2 名 井上尉央、荻美紀

## 1 あいさつ

阿部会長：多忙中の参加に感謝する。慎重審議をお願いする。

※参加者の関係で審議事項（1）を報告事項にして審議する。

## 2 報告事項

### （1）国体関ブロ報告

少年男子：群馬と対戦した。シーソーゲームの結果、残り 2 秒で追いつき延長戦となったが、71-77 で群馬に負けた。2 年生がよい経験を積んだので、来年につながると思う。

少年女子：東京と対戦した。身長差がありインサイドやシュート力の差があった。粘り強さが課題であった。後半リズムを変えたが 30 点差が付いた。1・2 年生がいたので来年に繋げたい。

成年男子：群馬と対戦した。3P までリードしたが逆転され、77-90 で敗戦した。

会長：全体的に身体の差を感じた。フィジカル面で劣っているが、シュート力は良くなっているので、体を鍛えるのが課題。

小曾戸：身長面ではどうにもならない。栃木として将来どうやっていくのか考えさせられる試金石となった。どういうチームを、いつごろから、どういう体制で育成・強化して行くのか真剣に考える時期に来ている。ストレートがなくなり、関東を勝ち抜くためには、問題点を整理して頑張ってもらいたい。

遠藤：少年女子には、経験不足を感じた。より強いチームとどのようにゲームしていくのかという経験値が選手にはなさすぎる。その心構えを鍛えていく時間が必要だと感じた。

成年男子では、10 点近くのリードがすぐに逆転され、そのまま追いつかなく負けてしまった。チームの編成、選手の起用等が問題である。

少年男子については、スタッフ間の疎通がうまくいかなかったことがマイナスになったのではないかと。平 31 年からは、関ブロを勝ち抜かなければ本大会へは繋がらない。

来年、再来年と協会として国体に臨む姿をはっきりとさせていかなければならない。

上野：強化部会を開いて、今後の方向性を決めなければならぬと感じた。少年種別について

て、『国体に出るためには何をしなければならないのか』、といえは時間をかけることだと思う。インターハイ後にメンバーをそろえてということでは到底勝てない。高体連としてどうするのかを考えていただき協会と足並みを揃えていかないと結論は出てこない。アンダーカテゴリー事業の育成・強化を一緒に進めていき、U16をどうしていくのが高体連の課題だと思う。ぜひ、高体連でも話を進めてほしい。

成年男子は、学生とクラブの混成チームで臨んだが、群馬にうまくやられて負けた試合だった。肝心なところで点差が開いて負けてしまうというのは、学生とクラブと主体をどちらに置くのか考えなければならない大事な分岐点に来ている。方向性を決めて、どのようなチームとして、どんな戦い方をするのか、どういう強化をするのか忌憚のない意見をお願いしたい。話し合いができれば方向性が固まって進んでいくと思う。

遠藤：平31年からは、関ブロの出場枠が、少年種別では4(6年に一度3となる)、成年種別では2・3(その繰り返し)となる。少年種別で関ブロベスト4になるのは決して不可能ではない。成年男子についても3位になることは不可能ではない。強化部を中心に検討し強化を図り、関ブロを突破して国体に出場していきたい。

## (2) 各種大会報告

クラブ：関東選抜大会(9/9・10)が高崎アリーナで行われた。

男子：瀧の原クラブ、烏山グレートディッパーズ(ともに3位)

女子：スクラッチ、栃銀クラブ(共に一回戦敗退)

栃木シニア、栃木スパーシニア：代表決定戦で敗退

中体連：夏の総体で、男子は小城南中が優勝、小中が2位、女子は陽南中が優勝、小三中が2位となり関東大会へ出場した。陽南中は関東3位で全国大会へ出場し、ベスト8となった。男子は両チームとも関東ベスト8だった。

高体連：会長杯一年生大会では、男子は宇都宮工業高校、女子では文星女子高が優勝した。

ミニ連：富浦さざなみ大会では、男子の清原ロケッツ4位、みはら5位、女子の宮の原7位、今二ラビッツ10位であった。

スポ少関東大会(埼玉開催)では、男子の那須清原が1位リーグ3位、女子の宮の原が3位リーグの3位となった。

U12の関東選考会で雀宮中央の男子1名が、ナショナルキャンプへ参加することになった。

車椅子：作新の2年生が、U23に召集されてカナダ遠征に参加した。

連盟としては、難しいが中・高校生の強化に力を入れていく。

※国際大会出場に対して激励金を検討する。・・・連盟より大会概要の報告後

## (2) 指導部：E-2、E-1の前期は終了した。9/24と10/8に後期を実施する。

※指導部からは、今後の理事会に益子先生に準理事として参加してもらうことを了承する。

次期役員改選に際しては、指導委員会からも理事を推薦することを了承する。

## (3) 平29年度県体協スポーツ顕彰候補者の推薦について(事務局)

各連盟・各部署で推薦される方がいれば、10月中に事務局へ連絡願う。

#### (4) その他報告

3×3 : U15・U18 の大会が 10/1 に開催されるが、参加状況はよくない。受付しているので、参加できる方へ声かけしてほしい。

遠藤：参加状況が非常に芳しくない。委員会を組織して実施していくのに、委員会が機能していない。来年は D-fund に予算を申請していくので、各連が真剣に普及に取り組んでもらいたい。

ブレックス：

①プレシーズンゲームを、国内と海外遠征を行った。海外遠征では、マレーシアで、アジア・アフリカ・ヨーロッパから 8 チームが参加し 5 位となった。

②ポスターとポケットガイドを職場や学校などに掲示してほしい。

③U15 ユースと部活動のすみわけを実施したい。現在、部活動とユースの掛け持ちの選手がほとんどで、そのデメリットを回避して、学習時間を確保させたい。

現在は、部活動を優先させているが、ユースチームとしてもやりたいことがある。

栃木国体の U16 を見据え、独自の強化により挑戦したいと思っている。

千葉ジュッツでは 2018 から実施することをアナウンスしている。

競技環境としては、中体連の大会には参加できないが、B リーグ主催の大会(年 3 回)や検討中の Jr ウインターカップや県リーグ戦など整ってくる。

U18 に関しては、作る時点になったら相談したい。

中体連：中体連としてはいい試みだと思う。地域クラブについてもすみわけしたい。

強化部：部活動・ユースクラブ・地域クラブが U15 部会という組織になる。それがうまくいくかは未知数である。

会長：いろいろな話を聞いたが、一つにまとまることが一番良い。中体連の協力を得て進んでいけばよいと思う。

### 3 定足数について

○定款第 47 条により、理事総数 27 名うち出席理事 21 名、過半数以上の出席により定足数を満たし本理事会は成立。

### 4 議事録署名人の選出について

阿部会長：車椅子の 佐々木清美 氏 と小山市協会の 古谷常夫 氏 をお願いする。

### 5 審議事項（議長：阿部会長）

#### (1) アンダーカテゴリー準備部会の設置について

専務理事：JBA よりアンダーカテゴリー準備部会を設置するように指示が来ている。

これに関してユース育成方針の説明会に強化部長が出席しているので報告願う。

強化部長：U12～16 を 1 年単位のカテゴリーで DC (ディベロップセンター) を作り、選手を育成していくというのが JBA の考えである。

本県では、すでに U12～16 の各カテゴリーで育成強化が行われているが、スタッフの人

選・育成など CD を立ち上げるのに課題がある。

二つ目は、リーグ戦の実施だが、日程の確保、会場の確保、審判の確保など課題が多い、JBA は、今やらなければならないと考えている。県としてもアイデアを出しながらリーグ戦化を進めなければならない。

専務理事：アンダーカテゴリー準備部会の人選については今後進めていくので、今回は設置について承認願う。

**—承認される。—**

(2) T0・スタッツ委員会の設置について

競技部長：栃木国体での T0 育成や関東大会等の T0 補助役員の養成などを目的として委員会を発足したいので承認願う。

専務理事：この委員会が認定した人がブレックスの T0 を担当するというようにしていく。

**—承認される。—**

(3) 天皇杯・皇后杯 3 次ラウンドの運営について

専務理事：県協会からブレックスの方に委託契約をして大会運営を委託するということを承認願いたい。委託料は、JBA の運営費 200 万円となる。

**—承認される。—**

(4) 協会優秀選手表彰の日程について(高体連)

**—変更等があり、10/17 の理事会で再度審議することになる—**

(5) 愛媛国体視察について

専務理事：77 回国体強化関係の国体対策指導者養成事業で国体視察の旅費が出ている。これについては、少年種別の視察を実施し、強化部が人選して視察する。協会の視察は、大会 3 日目(10/3~5)からにしたいので承認願う。

**—承認される。—**

(6) Bリーグにおけるゲームディレクターと Bリーグ支援委員会の承認について

専務理事：ゲームディレクターとは、BEX のホームゲームにおいてチェアマンの代行をするという役割で、参与の橋本さんを入れて 4 人推薦したい。また、Bリーグ支援委員会についても承認願う。来年度からは T0・スタッツ委員会からの推薦によって支援委員会のメンバーを決めて行きたい。

鈴木理事：なぜ、橋本さんを推薦するのか。

専務理事：協会の参与であり、自由にできる時間があり、協会への協力を惜しまない方である。また、Bリーグ支援委員会についても指導・助言をいただけたらと思っている。

**—承認される。—**

(7) D-fund の申請について

専務理事：D-fund の申請についてA-fund の限度額が 1200 万円であり現時点では大幅に超えている。ついては、今、各連盟に再検討をお願いしている。再度提出されたもので原案を作り次回の理事会に諮りたい。

鈴木理事：来年 1 月末締めで、各連盟の事業予算案が出てくることになっている。D-fund が決定したら、1 月～2 月中に本年度の補正予算と来年度の予算案を組んでいきたい。

—承認される。—

(8) 賛助会募集のホームページ掲載について

専務理事：賛助会員を増やしたので、第一期として 10 月末までの期間、募集をホームページに掲載したい。

—承認される。—

(9) その他

直井理事：3×3 委員会と指導者育成委員会のページがホームページに載っていない。ホームページに載せてもらえないか。また、3×3 委員会ではパソコンが必要であるが購入してもらえないか。

鈴木理事：問題はいくらかかるということ。見積もりを出してから検討していきたい。

議長：見積もりを取ってから審議することによいか。

—承認される。—

## 6 その他

(1) 事業費の確保について

専務理事：千葉県協会が千葉ジェッツとの関係で協賛金を集めているという情報を得ている。県協会としても、今後の事業を考えると BREX との関係をより強固なものとして、協賛金とかスポンサー収入といったことを考えていかなければならないので、皆さんにもアイデアを出してほしい。

(2) 小山市協会より：白鷗大学で開催される関東大学女子バスケットボール 1 部リーグ戦の紹介

専務理事：白鷗大学では、10/15 に男子バスケットボール 1 部リーグ戦もあり、前座試合として中学生のゲームも行われる。

## 7 あいさつ

小曾戸副会長：長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。